

奥出雲町消防団 見事優勝・準優勝纏を獲得

八月五日、益田市美都町で開催された、第五十一回島根県消防操法大会において、奥出雲町消防団を代表して小型ポンプの部に出場した三沢分団が見事優勝し、ポンプ車の部に出場した横田分団は第三



▶ 三沢分団

位に入賞しました。奥出雲町消防団として従来、初となるダブル表彰の獲得となり、県下にその名を轟かせました。三沢分団は、二十五チームが出場した小型ポンプの部で、競技順番が一番目というプレッシャーの中、地元から駆けつけた応援団の声援を受け、これまでの厳しい訓練の成果を十分に発揮し、二百点満点中百九十七点という高得点で最後まで他の追従を許しませんでした。

これで三沢分団は、県大会において三大会連続の纏獲得という偉業を成し遂げました。また、十チームが出場したポンプ車の部で、横田分団は最後まで二番目に出場し、午後の厳しい暑さの中、気迫のこもった操法を披露し、優勝し



▲ 横田分団

た松江市消防団玉湯方面団と二・五点差の百八十二・五点で準優勝纏に輝きました。三沢、横田分団の総力をあげた支援はもとより、家族や職場などの支えが今回の好成績に結びつきました。皆さんの御労苦、御支援に對し、心から敬意を表します。

♪♪ ふるさとの愛唱歌 ♪♪ 「忘れないで奥出雲」 歌碑除幕式



▲ 歌碑除幕の様子

ご当地演歌「忘れないで奥出雲」の歌碑が亀嵩温泉「玉峰山荘」の庭園に建てられ、七月二十七日に除幕式が行われました。

始めに歌碑の提供者である亀嵩出身の若槻一夫さんや歌手の七瀬もみじさん、数々のヒット曲で著名な日本作詞家協会常務理事の荒川利夫さん、横田出身で幅広く活躍されている作曲家のあきたかしさんら六名が除幕し、七瀬さんが歌を熱唱。

「忘れないで奥出雲」は二年前に「自分を育ててくれた

故郷に感謝の気持ちを表したい」という思いで誕生し、七瀬もみじさんに色々な機会でご歌っていただき、町民の愛唱歌として親しまれています。歌として親しまれていますが、今回たくさんの人達に奥出雲の良さを知ってほしいと建立されました。作詞家の荒川さんからは「これからも、この歌がたくさんの人達に愛唱され、地域の発展につながればうれしい」と挨拶がありました。